

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>		<p>「郷だより」は写真を中心に一目で入居者の様子が分かるようにしている。面会時に家族に提供している。「はつらつうしん」は設置場所を拡大したいと考えている</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>		<p>町内のオープンサロン等でのイベントに参加の誘いもあり、地域の方との交流もある</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>		<p>今年は町内会の「パークゴルフ大会」に初めて参加し、初優勝し、連覇をめざし入居者の社会参加の場として継続したい</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>		<p>現在は2名が認知症サポーターとして活動しているが、今後もサポーター養成講座を受講して他職員も活動の範囲を広げたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>毎年評価を受け、掲示しています。反省、見直しを踏まえて改善し、評価を活かす為に取り組んでいます</p>	
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>二ヶ月に1回開催して実施、実施記録も掲示しています。意見や助言は話し合い、ケアの向上に活かしています</p>	<p>開催日程を平日から日曜日等に変更も検討したが、あまり変化はなく、家族の参加は限られていた。又家族との昼食会等の交流の場を検討し、実施出来たらと考えている 又ホームに来られるボランティアさんの参加も呼びかけたい</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>当別町福祉課と連絡を取り合い、助言などを頂ける関係があります</p>	<p>地域ケア会議(認知症専門部会)やケアマネ連絡会等積極的な参加し、一層の認知症の理解を深め、取り組みたい</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者は研修に参加し、必要時は活用できるようにしています</p>	<p>参加する該当ある職員があるのであれば、知識共有の為にも研修を習得したいと検討している</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者は研修に参加し、必要時は活用できるようにしています。毎月1回管理者、職員は話し合い、検討し記録しています</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者は契約の際、書面にて詳しく項目ごとに説明しています。疑問については、納得されるまで説明をしています</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>心配事、不安な事はないか日常の中で、関わりを深め、訴えやすい関係が作れるように心掛けている。いつでも傾聴し、職員間で、情報を共有でき、利用者さんの援助につなげている</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>月に一度の「郷だより」で生活の様子、または職員の異動や退職も伝えていきます。また利用者さんによっては受診時に何か変更があれば随時電話等で報告しています。</p>		<p>入居者さんによっては遠隔地への家族さんへの報告として、年4回程の利用者さんの身体状況や生活の様子が解り、安心できるように、担当職員より書面で報告しています。これからも継続したい</p>
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関内にアンケート用紙を設置し、管理者が管理し、職員に報告し情報は共有され、問題があれば、改善に努めるようになっている</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>現場で起こっている事が全てという認識のもと普段から意見交換を活発に行って、ケアや業務に反映されている</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>行事や外出に合わせて、勤務体制を整えている。緊急時も職員同士で連携とり調整している</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>利用者より不安な訴えがあった時は、傾聴し安心できるように言葉がけをしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修には段階に応じて参加できるようにシフトも考慮して積極的に参加できるよう実施している。また施設内でも定期的実施されスキルアップに努めている</p>	<p>認知症の方に関わる事から、年3回を予定として計画して「認知症」についての勉強会を実施している。毎回担当を決め全員が参加できるように考慮して実施して継続していきたい</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>グループホーム協議会に参加している。他ホームや施設見学を通じて、情報交換や意見や助言を貰う等し、サービスの質の向上に努めている</p>	<p>今年は色々な取り組みで成果が出ているような施設見学を実施して、情報や知識を得て、サービスの質の向上に貢献したい</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に職員交流の場が設けられている</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>定期的に人事考課が実施されている。資格取得、考課評価によって手当、昇給がある。毎年個人の目標設定(ステップアップシート記載提出)し達成できるように努めている</p>	<p>資格を取得する職員には勉強資料の配布や講習も実施されている</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>面談の際、本人や家族から不安になるような事や生活歴、大切にしている事等出来る限り細かな情報を得て、入所前に理解を深め受け入れできるように工夫している</p>	<p>希望があれば、家族や入居希望の方には入所前に見学は勿論、日帰り入所体験等を検討したい</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>面談の際、心配な事、どのような事を求めているか、話してもらい、当施設の様子や普段の生活風景、どのような対応が出来るか納得できるように努めている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	他事業所との連携を取り、必要な支援が出来る体制になっている		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人の状況、又は家族の環境に合わせて、入居前に見学や日中施設で過ごせる時間を提供している。特に職員との関係が一番と考えて、接し方や話し方には配慮し、緊張しないように和やかな場になるように工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	生活活動全般を中心に外出や季節行事等を通じて一緒にゆっくと、笑ったり、怒ったりしながら、共感できる関係が出来るように努めている		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	入居者の状況を報告し、介護方針の相談もする事がある、家族の協力を得てケアを進めている。行事にも参加の呼びかけをしている		年間の行事の中には新年会だけが家族参加なので、定期的に「家族の会」を実施するか検討する
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居者の身体状況の報告や、家族にも入居者を理解して頂きながら、家族支援も出来るように努めている		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	来訪者には、気兼ねなく来られるように、明るく対応できるように心掛けている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者同士の関係を把握し、混乱しないように援助・助言している。日々の入居者同士の関わりや様子の変化にも気を配り支援出来るように工夫している		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	終了すると自然と関係が疎遠になっているのが現状ではある。外出時偶然会う事があれば、退所してからの様子を報告してくれる関係はあるし、相談されると助言する関係は継続されている。自然な関係で良いと考えている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者・家族からの情報のうえ、その人らしい生活が少しでも継続できるように、意向に沿うように検討しながら支援している		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面談での情報や本人の聞き取りからアセスメント・シートを作成し、職員は把握し、サービスの提供やケアに活かしている		個人のフェースシートの内容を介護度の変更がある時に記載内容も変更する
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	特に心身状態の変化は職員間の情報交換はされていて、変化ある時は看護師にも情報が伝わるように連携がある。日曜日以外は看護師の体調確認が実施されている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	職員は毎月カンファレンスし意見交換されている。プランは家族の要望にも配慮し、作成し確認して頂き、ケアに活かしている		毎月、カンファレンス、モニタリングし記載している

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	支援内容を見直し、家族からの要望や入居者の状況に変化があれば、すぐ対応し、ニーズにあった支援内容を作成、実施している		より良い支援計画が作成できるように関連講習・研修には積極的に参加したい
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	個別記録にケアプランの実施状況を記載し、評価や見直しに生かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	併設のサービスの利用や行事への参加もできる。他に要望があれば、柔軟な対応は出来ます		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	意向や必要性があればいつでも受け入れられる体制はある		保育所の園児との交流や所属する町内会の行事への参加等の取り組みがあり、継続したい
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	希望により支援する事になっている		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議や地域ケア会議を通じて、アドバイスを頂ける関係がある		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	家族の希望の医療機関と連携を取り受診体制をとっている		訪問歯科を定期的実施している。家族確認し主治医の再確認し、体調の管理や緊急時の対応策を再検討し、高齢でもあるので、定期的な往診体制も検討していきたい
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	必要に応じて、専門医の受診をし、治療方針・助言を頂き、支援している		受診のマニュアルを再検討する
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。			
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。			
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	同意は頂いているが、現在までに終末期の経験はないが、今後状態の応じる為にも医師や看護師、家族、職員で話し合い、最善を尽くせるように体制を作りたいと考えている		いずれはターミナルケアの必要性がある時がくると思うので、関連講習・研修があれば職員は積極的に参加し勉強する体制を作りたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	身体状況の急変に備え、本人、家族の意向を大切に、主治医、看護師との連携も取りながら、施設としては可能な限り、対応させていただきます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	介護添書、ケアプランの情報提供を行い、十分情報交換されています		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	日々の関わりにおいて、職員は入居者さんの誇りやプライドを損なうような言葉掛けや対応をしないように心掛けて接している		施設以外で写真の掲示等がある場合は入居者さんや家族の同意を頂いているが、口答での確認が多い、今後書面が必要であれば検討する
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	職員全員でカンファレンスし、プラン提供し、入居者の思いを実現できるように支援している		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者さんの状況を職員が共有し、変化があった時は一層配慮した関わり方を持つようになり、その方の希望や思いを大事にして安心できるように支援するように心掛けている		状況に応じて、食事の時間を変更、食事の場所を変えたりして、入居者さんが安心して、気を使われないように職員は配慮している
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	訪問美容室を定期的に利用されている方もいらっしゃいます。家族さんと行かれる方又職員が入居者さんの髪染めする事もあります。希望に沿うように努めています		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	旬の食材を入居者と一緒に買物に行ったり、献立を決める事もあります。食事は季節を感じて貰えるように提供している。職員も一緒に会話を提供しながら、一緒に食事しています		入居者の摂取状況を把握して、その方にあった食事の量を提供している、盛り付け(コップやお皿の工夫)も他の方とそんなに差がないようにさりげなく提供し、食べて頂いている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	希望があれば、家族の希望も確認しながら、喫煙も飲酒も楽しめるように支援します		現在は喫煙される方は居ませんが、今後希望があれば、喫煙場所を設置の検討が必要と思われます
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄状態を把握し、自尊心にも配慮し、気持ちよく介助が受けられるように心掛け、支援させて頂いている		排泄介助が必要な方には排泄のチェック表に記載し職員がされげなく、共有できているように援助している、排便確認も看護師との連携を取りながら、内服管理され、状況は共有されている
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴の曜日、時間の設定は特にない。希望あればいつでも入浴できるように支援しているが、希望されず、何日も入られない方には、せめて最低一週間に1回は入浴して頂けるように声掛けをしている		希望されない方には、入浴剤を工夫したり、浴室を暖めたり工夫して提供している。時々近場への日帰り温泉も楽しめるように支援している
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	生活リズムを整えるように、日中の活動を促したりし、気持ちよく就寝できるように支援している		入居者の状況によっては居室より、居間等のソファで休みたい希望もあり、それが、安心につながるのであれば、状況に応じて対応する工夫はしている
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	加齢と供に意欲的に参加される事も多少は減少しているのは現実ではあるが、楽しめるような外出や趣味、季節を感じるような行事を提供し、職員と一緒に楽しめるように支援している		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の判断能力に合わせて、所持したり、管理したりされています。買物や受診等は支払いは、出来る方にはお願いしています。		入居者の中には、支払いされた事も忘れて混乱される方もいらっしゃるため、混乱されないように、帰宅後はすぐ、サインを頂いたりしている。何度も説明する事もあるがその都度対応している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日常的な散歩、買物等の支援をしている。また、季節にあった外出行事も計画し、戸外へ出かけるように支援している		町外の外出が多かったが、今回は町内にオープンサロンの開店に伴い、手軽に珈琲や手作りのお菓子を楽しめる場所ができ、入居者の社会との関わりの場が広がって良かった。今後も馴染みの関係を継続していきたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	日常の会話から、入居者の希望や本当の思いを聞き逃さないように、そんな思いが実現できるように支援したい。家族の理解や協力を得ながら、思いが支援できるように努めている		全員ではないが、温泉1泊旅行を実施し、楽しかったという意見が今も聞こえるので、郷の行事として実施、継続したい。又、公共機関を利用した外出も実施した。お盆には、「墓参りしたい」という会話もあり検討したい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	常に、支援できるように、対応している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも来訪してもらえるように支援している。必要に応じて、居間や居室で過ごされるようにしています。		遠方より来られる家族様には宿泊できるようにしています。(寝具準備)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月一度身体拘束の有無を職員間で話し合い、記録して、情報を共有し意識徹底を図っている。		関連研修会・講習があれば、職員の意識向上と情報共有のために参加する
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵を掛けないケアに取り組み、安全確認や見守りに職員は配慮している。夜間は防犯のため午後21時前後には施錠しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の身体状態やそれに伴うリスクも把握しながら、言葉がけをしたり、されげなく見守りをし、安全に配慮している。夜間は定期的に訪室して確認しています		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	それぞれの判断能力に応じて対応している。本人の希望もあり裁縫用具(針・はさみ等)管理されている方もいます。危険性あると判断したものは管理させて頂くようにしています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	急変時、緊急時、の対応マニュアルを作成して、見えるように掲示してある。		入居者も一緒に年2回の避難訓練を実施している
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。			
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。			
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	状況に応じて、説明し、相談しながら少しでも自立に向けた取り組みをするように努めている。本人の状況を家族にも説明し共有し理解を得ながら支援に繋がるように話しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	職員による体調確認している。異常ある時は看護師の指示仰ぐ事になっている。	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	内服リストがあり、処方内容に変更がある時は申し送りがあり、また記載され確認する事もできる。個々のファイルがあり処方箋あり確認できるようになっている	内服確認には、職員一人だけではなく最低2名が確認に入るようになっており、内服のセットには個人の内服状況が判断しやすいように色分けされ、再確認できるようにお薬ボードも準備し飲み忘れや誤薬がないように注意している
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	個々の排便や食事の摂取量を記録し、状況を把握できるようにし、必要な方には飲水量も記録する事もあり、検討しながら、看護師との連携、助言があり対応している	看護師や受診時には担当医と内服の助言指示もあり状況に応じて内服処方もあり、生活の中では食事(水分や食物繊維等)の提供の工夫をしている
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	定期的に訪問歯科による口腔管理がされている。口腔ケアは個々の力に応じて支援しています。	現在は本人、家族の希望もあるので、全員が定期的に口腔管理されていないので、理解と了解を得て、全員が年に1度でもチェックされるように検討したい
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	食事の摂取量は毎食確認され記載されている又、身体状況に応じて、食事形態(刻み・粥等)も個々に配慮して提供している	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	マニュアル作成されている。研修にも参加している	夜間には塩素系での掃除(常時)も行い、予防に対応している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	マニュアル作成されている。誰もが見えるように台所に掲示してある		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関には、ベンチを設置し、季節の花をプランターに植えたり、季節を感じるような飾り付けもしている。階段には写真等も掲示し、和やかな雰囲気が感じられるように工夫している		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者状況に合わせて、テーブルや椅子の位置を変えたりしながら、心地良く、過ごせるように工夫している。壁には季節に合った飾りを一緒に作り飾ってある。又、行事の予定も掲示して入居者が確認し、安心し、楽しみにできるように工夫している		毎月の行事を掲示して、楽しみ感を感じてもらえるようにしている
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間の中央にソファを設置しているが、他にソファ2個、マッサージチェアや一人掛けの椅子も随所に置き、又、居間で職員の声を聞きながらでも横になれるように工夫している		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は本人が落ち着かれるように、お好きなもの、馴染みの物が置かれている		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居室・居間・ホールは湿・温度計を設置し、温度確認しながら、冷暖房の温度調節も行っています。冬場は加湿器も使用している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで、廊下、トイレ、浴室には手すりが設置されています</p>	<p>必要と思われた所には手すりを設置追加し、残存機能を活用し、少しでも自立に繋がる支援に努めた(床のすべり止め、脱衣場・トイレに手すりを追加)</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>個々の残存能力を活かし、楽しく生活してもらえるように支援しています</p>	<p>アセスメント実施し、入居者の出来る事、楽しめる事、自信がもてる事を職員間で、共有し、生活の中で発揮できるように支援している</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダでは布団や洗濯物を一緒に干したり、外気浴やバーベキューを楽しんでいます</p>	<p>施設前の駐車場では夏祭りを実施開催しています。畑もありますが、加齢に伴い、多少困難になり今年は野菜もトマトや花だけになっています。今後はプランターが中心で、楽しんで頂こうと検討しています</p>

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	<p>ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>

. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている <u>少しずつ増えている</u> あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<u>ほぼ全ての職員が</u> <u>職員の2/3くらいが</u> 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<u>ほぼ全ての利用者が</u> <u>利用者の2/3くらいが</u> 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<u>ほぼ全ての家族等が</u> <u>家族等の2/3くらいが</u> 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

ホームは緑に囲まれた中にあり、施設前にはヤギも居て、入居者がえさをやったり、近隣の保育園が気兼ねなく来られる関係にあります。ホーム内は、広い廊下と、南向きの大きな窓から差し込む日差しには、入居者だけでなく、職員も良い気持ちになり傾眠がちになってしまいます……開放感も十分あります。春にはベランダから桜やこぶしの花木もあり、ベランダで花見が楽しめます。